

SAMPLE

特集レポート No. 070

クリーニングビジネスの新潮流 (宅配、複合型コインランドリー)

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 家庭用洗濯機・洗剤の高機能化による自宅でのクリーニング機会の増加等を背景に、クリーニング市場全体は縮小傾向にあり、クリーニング関連の施設は減少している
- そのような状況の中で、清潔志向の高まりや女性の社会進出による家事アウトソーシングニーズの拡大等を背景に、宅配クリーニングサービスやコインランドリーが人気となっている
- 本レポートでは、特に急速に拡大するコインランドリー市場で活躍する「WASHハウス」を取り上げ、「WASHハウス」の戦略・強みを紹介するとともに、それらの他のビジネスへの応用可能性を探る

本資料の流れ

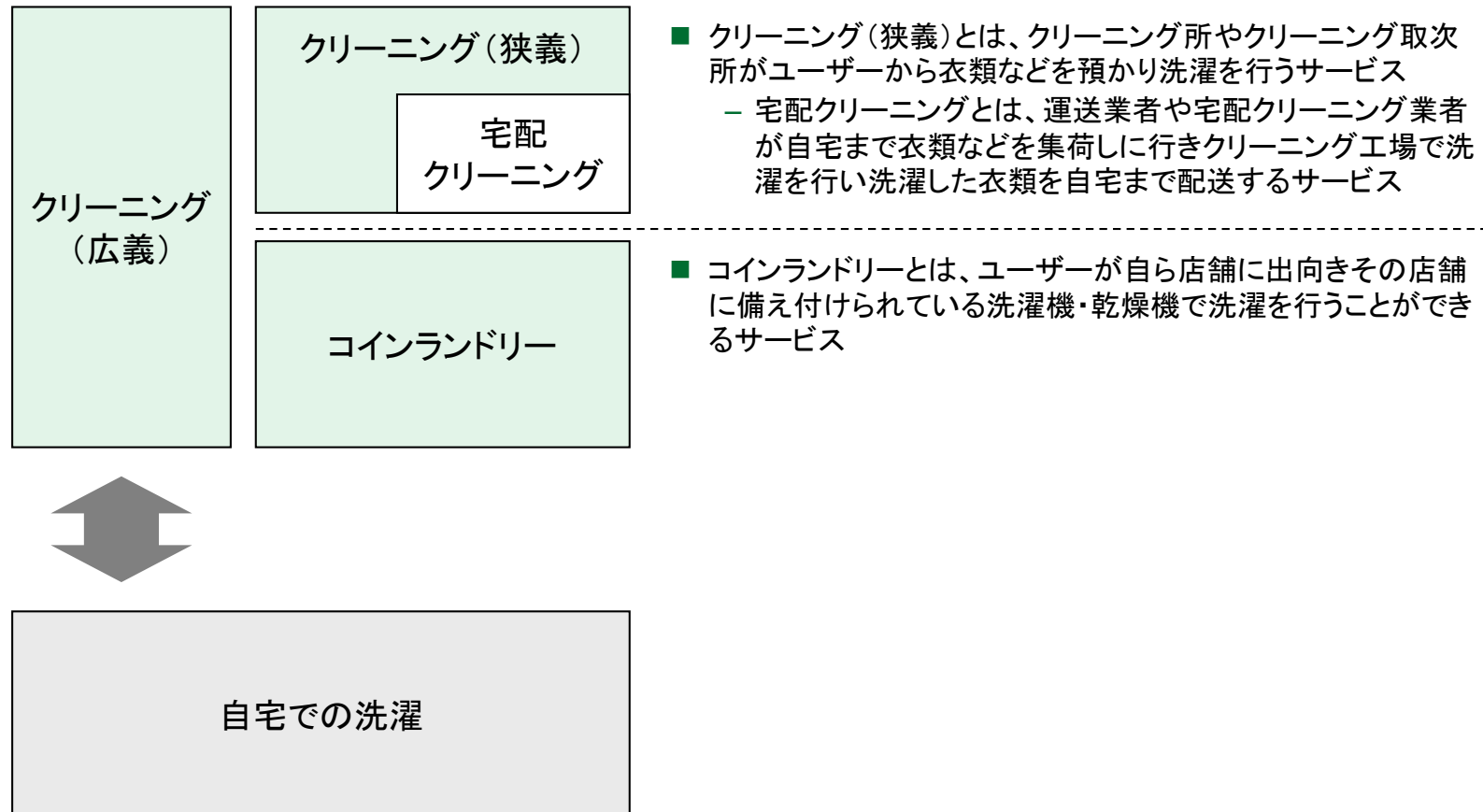


- I. クリーニング市場全体の動向
- II. 宅配クリーニングサービス・コインランドリー人気の高まり
- III. 他業界での応用可能性

クリーニング市場(広義)の主要サービス

- クリーニング市場(広義)の主要サービスは、大きく「クリーニング(狭義)」と「コインランドリー」に分けられる

定義

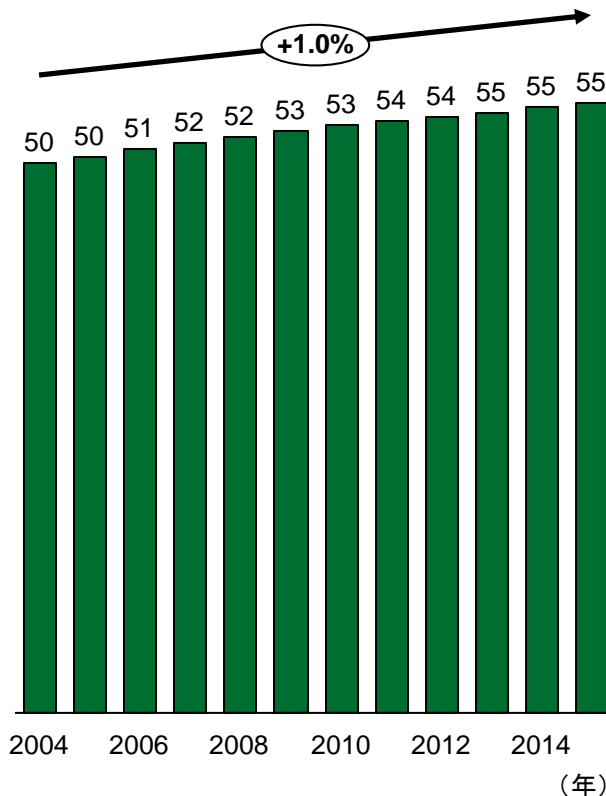


クリーニング市場(広義)規模推移

- 洗濯機・洗剤の高機能化などによる家庭における年間洗濯代の減少を背景に、クリーニング市場規模は縮小傾向にある
 - 他に素材の高機能化(ノーアイロンシャツ、洗えるスーツ)、ファッションのカジュアル化、クールビズなども影響

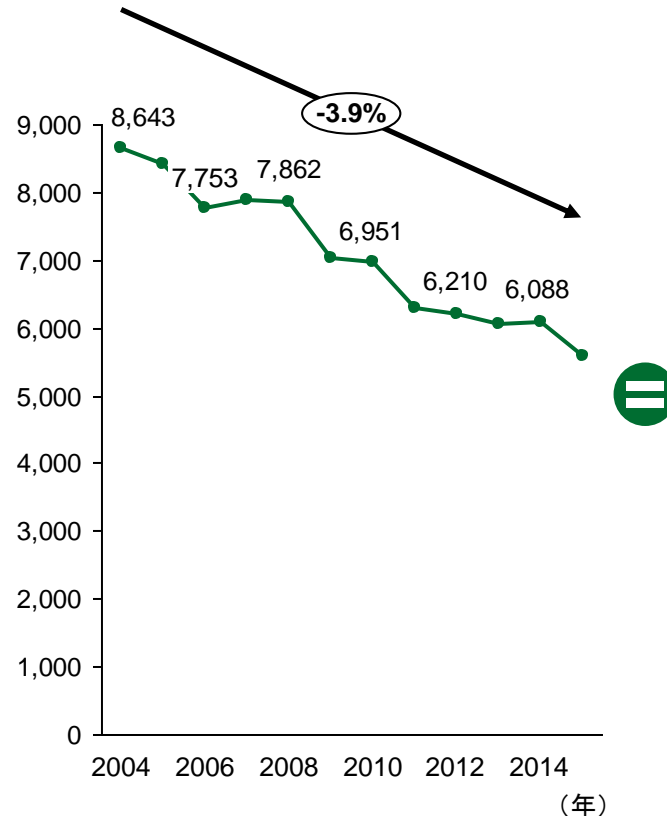
全国世帯数推移

(単位: 百万世帯)



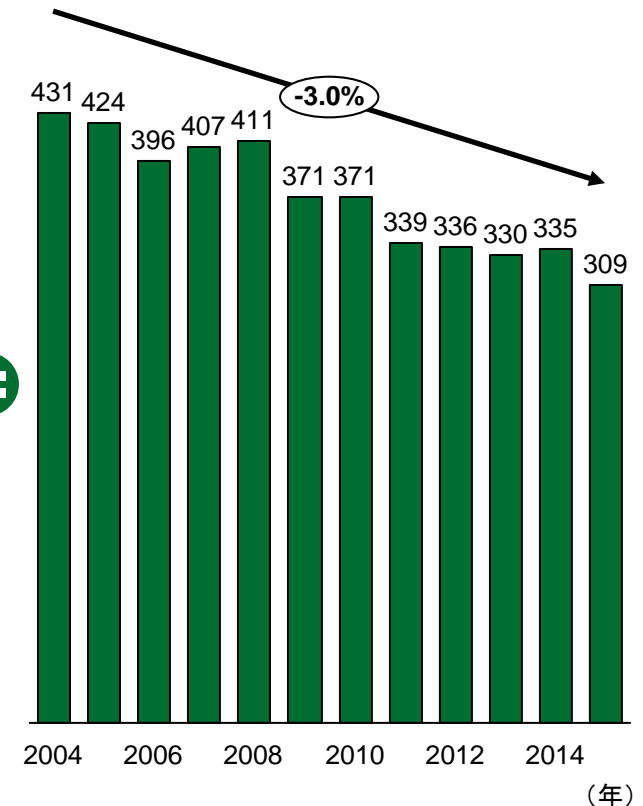
1世帯当たり年間洗濯代*1

(単位: 円)



クリーニング市場(広義)の市場規模推移(推計)

(単位: 十億円)



注: *1. 洗濯代とは、「被服及び履物」に分類されるものの洗濯代を指し、具体的にはクリーニング代やコインランドリー利用料を含む

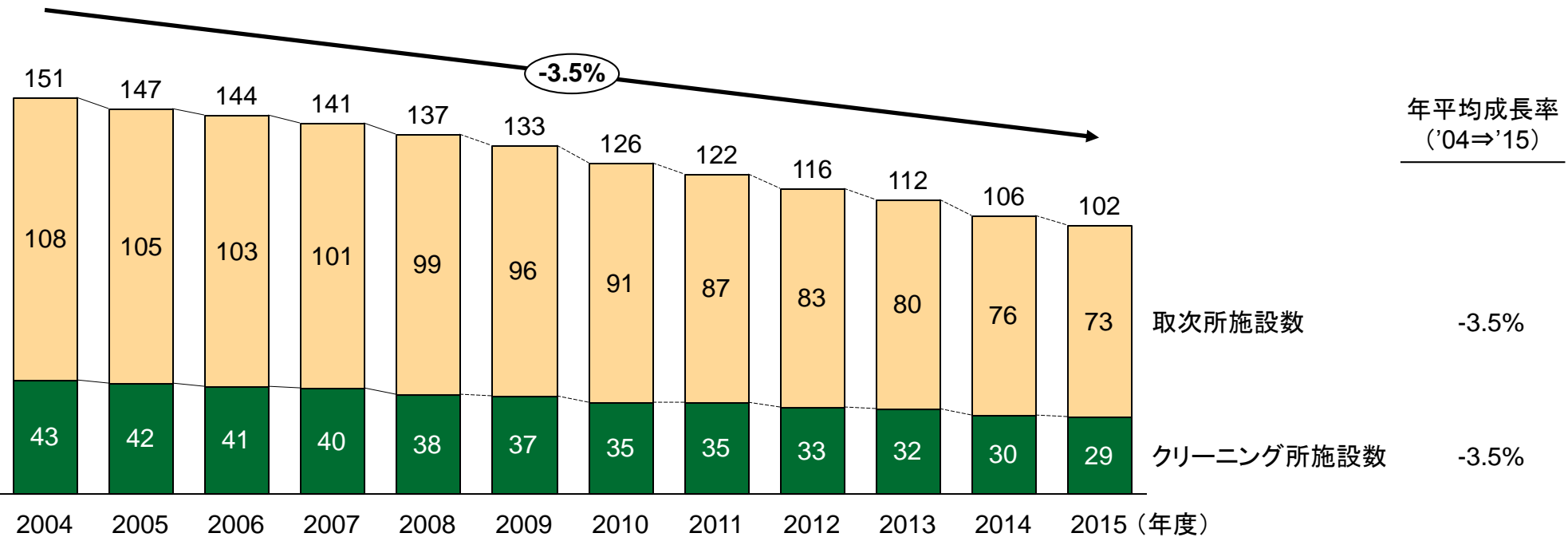
出所: 総務省「家計調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

クリーニング(狭義)関連の施設数推移

- クリーニング需要の減少を背景に、クリーニング所・取次所ともに減少している

クリーニング(狭義)関連の施設数推移

(単位: 千軒)



SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

